

会告 III

第 20 回国際輸血学会アジア部会

(XXth Regional Congress of the ISBT, Asia) のお知らせ (第 4 報)

今年 (2009 年) の秋, 下記の要項で, 第 20 回国際輸血学会アジア部会を開催致します。

国際輸血学会 (International Society of Blood Transfusion : ISBT) は, 70 年余の歴史 (1935 年創立) を持つ, 由緒ある国際学会です。創立以来 2 年に 1 回総会を, 1989 年からはヨーロッパ, アジア両部会を追加し, 最近では偶数年に総会, 奇数年に両部会, 即ち 2 年間に 3 回, 世界各地で学会を開催しています。現在, 95 ヶ国以上, 約 1,300 名の会員を擁していますが, 実際の学会では 2,000 名を超える方々が参加されています。

我国では過去 2 回, 1960 年 (福田保会長, 東京), 1996 年 (湯浅晋治会長, 幕張) に総会が開催されており, 今回は 3 回目, 初めてのアジア部会ともなります。本学会では従来の輸血分野の諸課題に留まらず, 再生医療を中心とした細胞治療にも踏み込んだプログラムを準備しており, induced Pluripotent Stem cell (iPS 細胞), Regenerative Medicine (再生医療) を始めとする日本の最新技術と国際的な先進医療が一堂に会し, 情報の交換を行う意義は極めて大きいと考えられます。

また, 通常の ISBT のプログラムに加え, 本学会では初日に Japanese Day (日本語による講演) を設け, 学会中の Plenary Session では同時通訳を準備し参加者の便宜となるよう企画しています。参加費についても, 国際輸血学会非会員の正規参加費に比べ明らかに低額に設定すると共に, 認定輸血検査技師, 認定医制度の更新については, 本学会参加により, 秋期シンポジウムおよび国際輸血学会の合算点数が付与されることとなりました。さらに, 検査技師, 看護師等の方々の積極的な演題発表を支援するため, 発表者に対する参加費一部援助を行うこととなりました。一人でも多くの方々のご参加をお待ちしています。

記

1. 学 会 : 第 20 回国際輸血学会アジア部会 (XXth Regional Congress of the ISBT, Asia)

URL : <http://www.isbt-web.org/nagoya/>

2. 日 程 : 平成 21 年 (2009 年) 11 月 14 日 (土) ~18 日 (水)

- ・本学会は日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウムとの併催, 日本血液事業学会, 全国大学病院輸血部会議の協賛となっております。
- ・プログラムとしては, 初日 (14 日) のみ, 国内 3 団体による Japanese Day (日本語によるプログラム), 15~18 日は国際輸血学会と共通となります。

3. 会 場 : 名古屋国際会議場 (〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号)

Tel : 052-683-7711, Fax : 052-683-7777, URL : <http://www.ncvb.or.jp/ncc>

4. 演題募集 : 第 20 回国際輸血学会アジア部会の一般演題 (口演発表・ポスター発表) は平成 21 年 4 月から公募されます。発表は英語です。演題申込は平成 21 年 4 月から 7 月 3 日 (金) まで, 第 20 回国際輸血学会アジア部会のホームページ (<http://www.isbt-web.org/nagoya/>) から登録してください。演題申込の詳細はホームページをご覧ください。

5. 参加の事前登録 : 全学会日程通しの統一価格で 28,000 円 (170 ユーロ) です。

- ・国際輸血学会非会員の正規参加費 (350 ユーロ) とは異なり, 日本人参加者用の特別設定ですので, 是非事前登録をお勧めします。
- ・参加の事前登録は国内学会用 (第 16 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム) のホームページ (<http://square.umin.ac.jp/btnagoya/>) から登録をお願いします。

6. 演題登録者への援助 :

一般演題応募に際して, 医師以外の日本輸血・細胞治療学会会員 (薬剤師, 臨床検査技師, 看護師等) が筆頭者として演題発表する場合には, 日本輸血・細胞治療学会から参加費の半額 (14,000 円) を援助します。この援助を希望される方は, 学会期間中に日本輸血・細胞治療学会事務局 (名古屋国際会議場 2 号館 1 階に設置予定) にて, ①日本輸血・細胞治療学会会員証 (2009 年夏発行予定), ②演題発表受理通知書および③学会参加書を提示

して申し込んで下さい。

7. Congress Banquet (懇親会) 参加の登録：

日時：平成 21 年 11 月 17 日 (火) 19:30 から

場所：ウエスティン名古屋キャッスルホテル (名古屋)

- ・参加費は 6,000 円です。参加登録は国内学会用 (第 16 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム) のホームページ (<http://square.umin.ac.jp/btnagoya/>) から登録をお願いします。

8. 認定制度：参加により認定検査技師には 18 点, 認定医には 13 点が付与されます。

9. プログラム (予定)

Plenary Sessions

- ・ Cellular Therapies
 - ・ From human somatic cells to human iPS cells
-State of the art and future needs-:
Kazuhiro Sakurada (Japan)
 - ・ Generation of haematopoietic cells from the pluripotent stem cell:
Hiromitsu Nakauchi (Japan)
- ・ Transfusion Transmitted Infection (TTI)
 - ・ Reactivation of HBV infection:
CL Lai (Hong Kong SAR, China)
 - ・ Epidemiology, clinical features, and prevention of HTLV-1 infection:
Kazuo Tajima (Japan)
- ・ Clinical Transfusion
 - ・ Patient blood management -a new paradigm for transfusion ? -:
Amanda Thomson (Australia)

10. 事務局

会 長：愛知医科大学医学部輸血部教授 高本 滋

事務局：〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字雁又 21

愛知医科大学医学部輸血部准教授 加藤 栄史

TEL : 0561-62-3311 (代表), FAX : 0561-61-3125

Email : jstmct16@aichi-med-u.ac.jp